

日本臨床細胞学会奈良県支部第2回理事会 議事録

日時：平成25年10月17日 午後4時

場所：奈良県医師会館

出席者：小西、安達、井谷、浦、太田、河野、清塚、鴻池、笹平、島田、豊田、中井、中村幸、
中村修、古川、森田、

欠席者：井上、今井、榎木、榎本、大林、小畑、川口、金山、木枕、小林、武田、高野、西川、
松山、山川

1) 平成25年度学術総会について

今井理事世話人のもと、12月7日（土）開催予定で、テーマは乳腺疾患、特別講演（南雲サチ子先生）、教育講演（君島伊造先生）が行われる。今回は企業ブースの機器展示は行わない。なお、一般演題の応募がまだないため、奈良医大、県立奈良病院、天理よろづ病院、近畿大学奈良病院、奈良市総合医療検査センターより少なくとも1題応募することで了承が得られた。

2) 平成25年度奈良県支部ワークショップについて

平成26年1月25日開催予定となっている。安達理事より同日、西川理事から細胞診勉強会が開催される旨の報告あり、詳細な情報が不明のため電話にて確認したところ、同日開催されることが判明した。奈良県支部への事前通知がなく、状況が把握できないため、後日確認後に対処することとなった。日程を変更するか否かは支部長に一任されたが、理事からは支部会の年間行事として既に設定されており、日程変更はおかしいとの意見がでた。

今年度の細胞診実習担当（午後）は奈良市総合医療検査センターで、分野は泌尿器科であることから、特別講演の演者に和歌山医大・村田晋一先生、名古屋第2赤十字病院・都築豊徳先生の推薦があり、支部長に一任された。

後日、奈良医大病理診断学の勉強会「第3回スペシャリストと顕微鏡をみる会」で、1月25日内膜細胞診をテーマに行われることが判明した。調整の結果、ワークショップを午前10時～午後2時で行い、その後内膜細胞診の勉強会に引き継ぐこととなった。

3) 平成26年度総会・学術総会について

12月6日（土）を開催予定とする。

世話人としては近畿大学奈良病院、産婦人科小畑孝四郎先生に依頼する予定で、本日欠席のため、太田理事より確認をいただく。（後日、了承された。）

4) 平成 26 年度近畿連合会学術集会について

第 40 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会（案）が支部長より提案された。

11 月末までに各理事から支部長ないし事務局にテーマ指定演題および特別講演を提案することとした。学術集会長、委員等は配布資料に記載のとおりで、理事より了承が得られた。今後、学会実行委員会が進めていくこととなった。

日時、会場については平成 26 年 10 月 5 日（日）で、奈良県橿原文化会館大ホールで行う。収容人数に対して出席者数が少なくなるので、着席制限などを行い、効率的な運用を目指す。

ランチョンセミナーは会場の規制があり、特別許可を得て開催可能となったが、かなりの制限が加えられる。担当する企業を年内までに決定したい。展示室は LBC 関連機器の展示、顕微鏡の設置と鏡検、飲食物の提供と休憩にあてる。書籍の展示、販売は展示室では許可されないため、大ホール前にて設置する。

寄付金等については、支部会員を通して年度内を目処に申し込む予定となった。

5) 奈良県支部会誌について

支部施設紹介が一通り終了したので、今後は新人紹介を中心に新しいニュースを盛り込む。

総会・学術集会の予稿、特別講演、教育講演の内容が記載されるよう、編集委員会に規定を依頼する。

6) その他

日本臨床細胞学会が公益法人となり、本支部会は「地域連携組織」となったが、対外的な名称は従来通りでよい。なお、日本臨床細胞学会との契約（業務委託契約）を結ぶこととなった。

これに関して、奈良県支部の法人化について理事より提案があった。他の支部会における法人化の動きや法人化に伴う問題点を含め法人化の具体的なスキームを提案者に提示してもらい、今後理事会にて審議するとともに、総会や支部会員のアンケートも踏まえ、あり方を検討する。

11 月 2, 3 日開催予定の日本臨床細胞学会秋期学術集会の会場運営について、現場責任者会議が 10 月 27 日に大阪市立大学で開催される。責任者である奈良医大島田理事が出席予定で、内容は追って担当者に伝達される予定である。

平成 25 年 10 月 22 日

奈良県支部長

小西 登